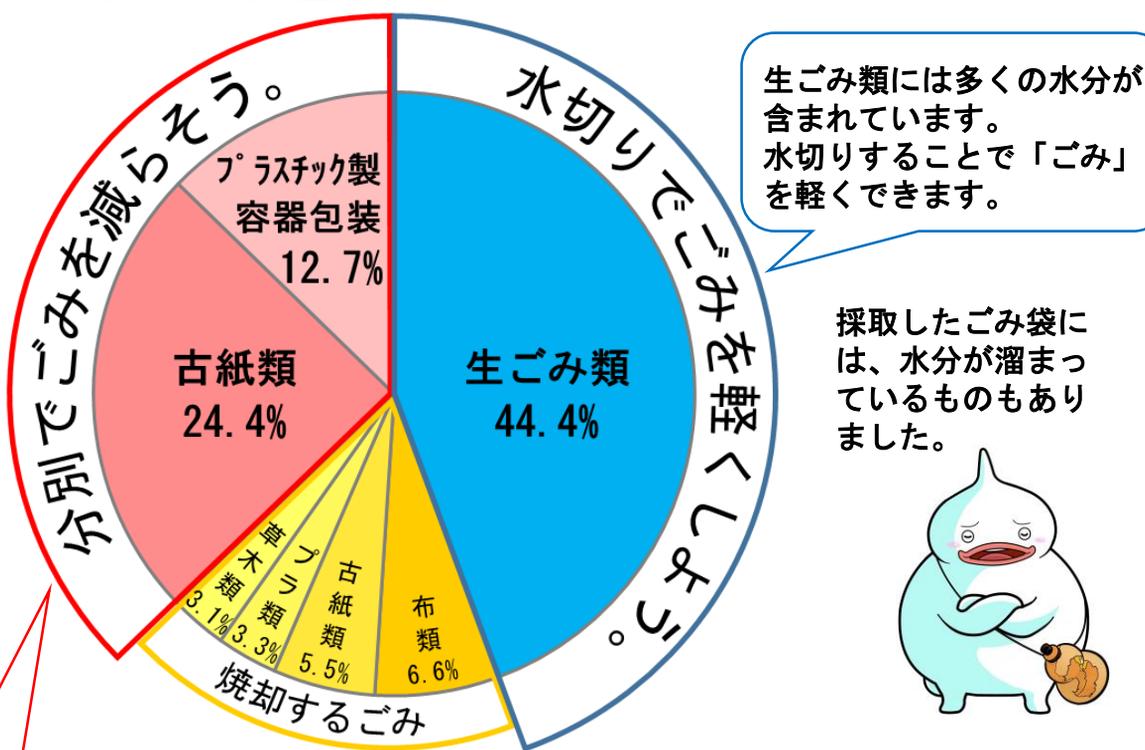


環境課からのお願い！

4万人のごみ減量プロジェクト

島原市では「4万人のごみ減量プロジェクト」として1人1日当りの燃やせるごみ量850g、経費9千万円削減を目標として、令和2年4月から取り組んできましたが、1人1日当りの燃やせるごみ量は減っていないのが現状です。この様な状況を改善するため、令和2年11月に「ごみ質調査(ごみの内容物の調査)」を行いました。調査結果は以下のとおりとなっています。

令和2年度 ごみ質調査



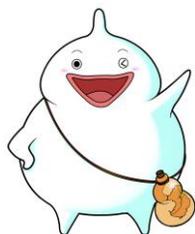
分別することでリサイクル可能な資源が37.1%も含まれていました。

- ・古紙類（新聞、段ボール、菓子箱、包装紙、雑誌、ノートなど）
- ・プラスチック製容器包装（白色トレイ、菓子袋、発泡スチロールなど）

汚れを落とし分別することで、ごみはリサイクル出来ます。

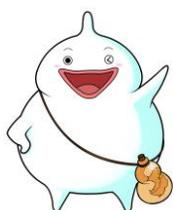
また、燃やせるごみの減量にもなりますので、必ず分別してください。

水切りと分別で燃やせるごみを減らそう！



紙ごみ(古紙類、紙製容器包装)の分別区分が簡単になります。3種類に分けて古紙類に出してください。

- ①新聞・チラシ
- ②段ボール
- ③その他の紙(①・②以外の紙)



令和3年4月から、ごみの減量を進めるため 紙ごみの出し方を簡単にします。

島原市では、ごみの減量を進めてきましたが現在もリサイクル可能な紙ごみが燃やせるごみに24.4%も含まれています。この部分をリサイクルできれば燃やせるごみを確実に減らせます。市民皆様のご協力をお願いします。

分別区分の変更点

新聞・チラシ、段ボール以外の紙類は、「紙製容器包装・雑誌・雑がみ」としてまとめて出せるようになります。

古紙類は、きれいに汚れを取り除いて「ひもで十字に縛る」か「紙袋」に入れて出してください。

令和3年3月31日まで

古紙類

雑誌



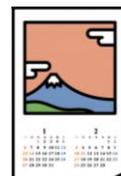
紙製容器包装



令和3年4月1日から

古紙類 (その他の紙)

雑誌・雑がみ
紙製容器包装



ノート、メモ紙、封筒、カレンダーなども、リサイクル可能な「雑がみ」です。

「紙製容器包装」、「雑がみ」は紙袋へ集めよう！

ごみ箱の横に紙袋を用意しましょう。
小さいメモ紙から大きい包装紙まで、ばらばらの大きさのものも集めやすくなります。
また、そのままごみ出しも出来て簡単です！



このチラシに関する問い合わせ先

島原市 市民部 環境課

☎0957-63-1111(代表)